

1日：23時半頃
 15日：22時半頃
 31日：21時半頃
 (神戸の星空)

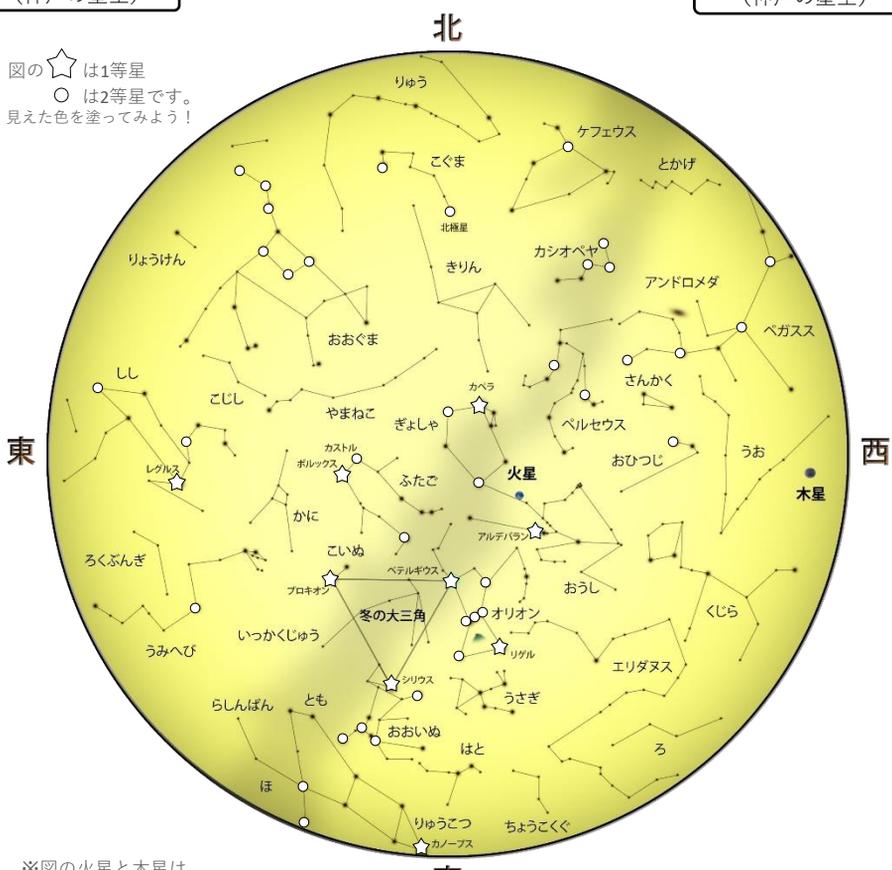
2023 Calendar

1日：21時半頃
 14日：20時半頃
 28日：19時半頃
 (神戸の星空)

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7 まげつ 満月
- 8 科学館の観望会 「星空ウォッチング」
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15 まげつ 下弦
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20 しんげつ 新月
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29 じょうげん 上弦
- 30
- 31

- 1
- 2
- 3 科学館の観望会 「星空ウォッチング」
- 4
- 5
- 6 まげつ 満月
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14 まげつ 下弦
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20 しんげつ 新月
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27 じょうげん 上弦
- 28

図の☆は1等星
 ○は2等星です。
 見えた色を塗ってみよう！



※図の火星と木星は2023年2月中旬の位置です。 星図：国立天文台 天文情報センター

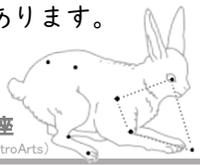
スタッフのイチオシ星

「オリオン座」の足元には・・・

冬を代表する星座といえば「オリオン座」。赤い1等星の「ベテルギウス」と青白い1等星の「リゲル」を目印に、周辺の2等星を結んで、「リボン」や「砂時計」、「ポートタワー」のような形に例えられる特徴的な星の並びです。神戸から見える星座の中で、1つの星座に1等星を2つも持っているのは、「オリオン座」だけです。そのオリオン座の足元には、「うさぎ座」があります。今年の干支ですね。街の中では少し見つけにくい星座ですが、台形の星の並びが目印です。



サイエンススタッフ
みちはた



うさぎ座
(星座絵：StellaNavigator11 / AstroArts)

- 街の電気の明かりや月明かりを手や腕で隠すと、星を見つかりやすくなります。
- 星図は空にかざして、方角を合わせて使います。
 例：東の空を見たい時は、「東」の文字を下に向けて
- 空に向けるため、東と西が逆になっています。



今夜の月をスケッチしよう！ 参考：月の位相（満ち欠けの様子）

